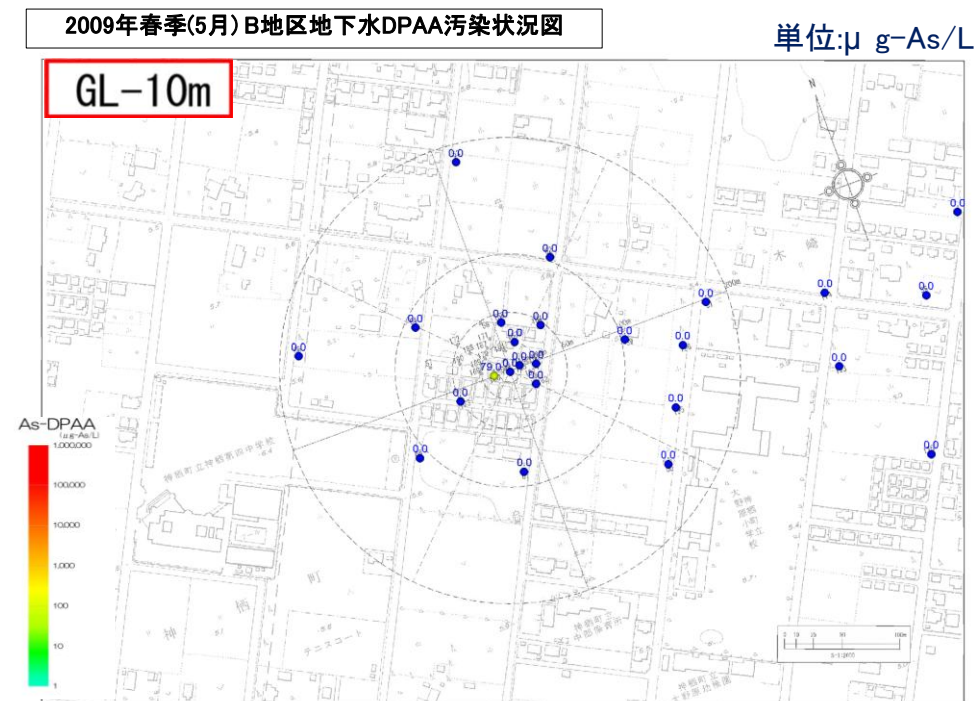


③B 地区について

平成 21 年春季、平成 21 年冬季において深度 10m の濃度が上昇している箇所が複数みられたが、春季では特に浅層部の濃度低下が大きい。深度 30m の汚染分布について、B 地区より北側の濃度が高い傾向にあり、南側の濃度は全体に低い状況にある。春季最も濃度が高いのは、B 地区中心から北東に約 50m 離れた No.164 の深度 30m で、0.22mg-As/L (前回 0.18mg-As/L) である。

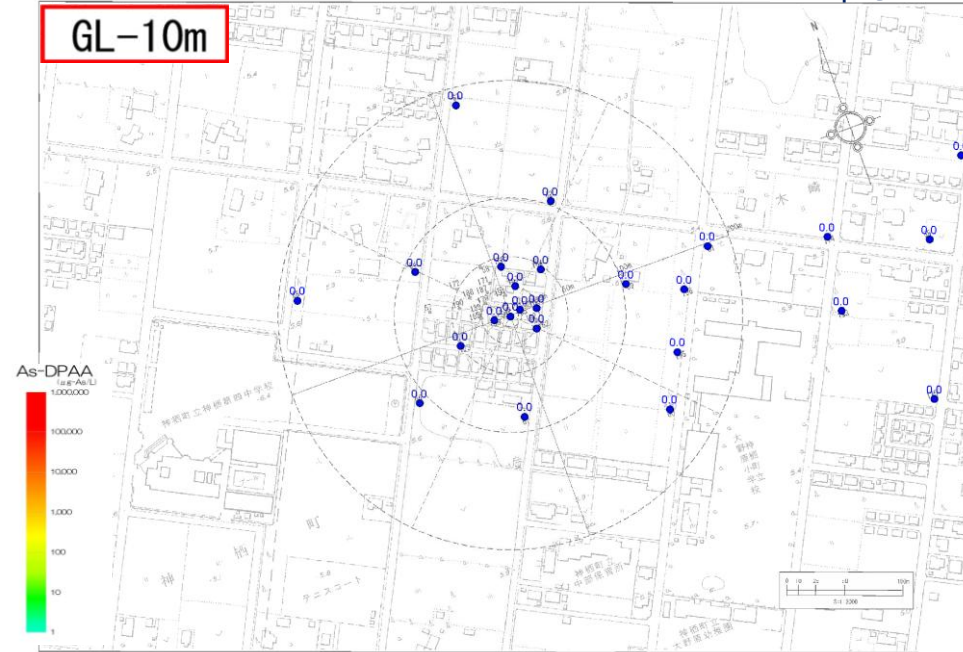
深度 10m で最も濃度が高いのは、B 地区中心から西に約 15m の No.166 で、0.079mg-As/L (前回 0.038mg-As/L) であり、同地点のみが深度 10m における汚染であった。深度 20m も同様、No.166 のみで、0.071mg-As/L (前回 0.064mg-As/L) であった。

平成 21 年夏季、深度 10m、20m での汚染は全く見られない。深度 30m は、春季同様、B 地区より北側の濃度が高い傾向にあり、最も濃度が高いのは、B 地区中心から北東に約 50m 離れた No.164 の深度 30m で、0.24mg-As/L) であった。



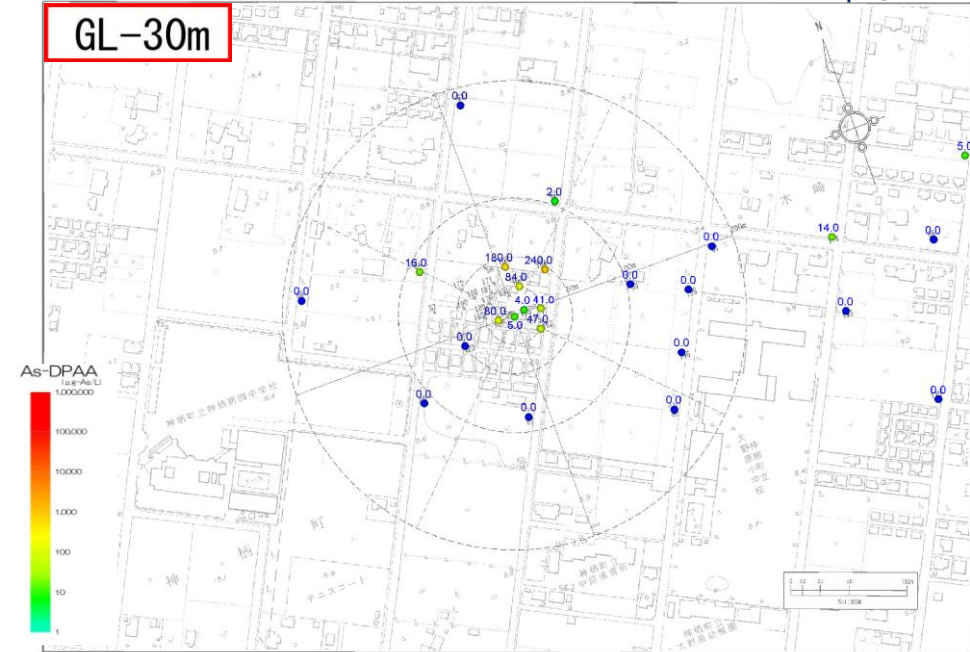
2009年夏季(8月)B地区地下水DPAA污染状况图

单位:μg-As/L



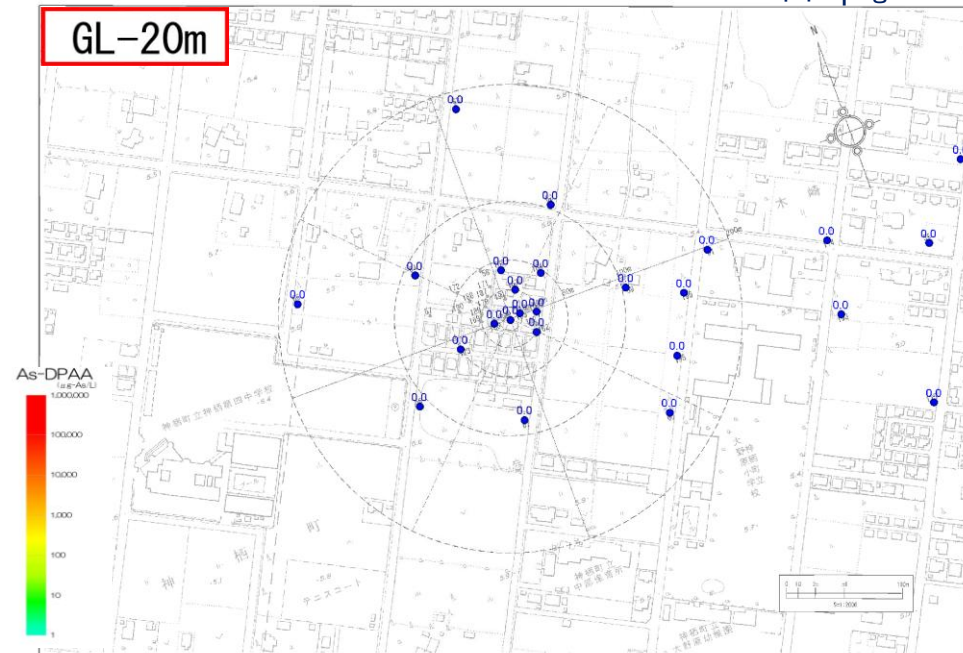
2009年夏季(8月)B地区地下水DPAA污染状况图

单位:μg-As/L



2009年夏季(8月)B地区地下水DPAA污染状况图

单位:μg-As/L



DPAAs濃度変化 B地区 単位($\mu\text{g-As/L}$)

